

思いやりの形

沖縄市立美東中学校 3年 屋良 愛美

私は、白血病で入院したことがあります。現在も、経過観察で通院しています。ある日母に、「私の通院でたくさんお金がかかっているよね。いつもありがとう。」と話したら、母は『「高額療養費制度」という制度のおかげで、私の医療費は無料なんだよ。』と教えてくれました。

私は、母が言っていた、高額療養費制度というものが気になり、私はインターネットで調べてみました。カゼをひいたときなどに病院に行くと、その診察費用などのうち、七割を保険で、残り三割が自己負担になります。しかし、高額療養費制度では、その三割も負担してくれる制度であることを知りました。そして、その制度は日本に住む人みんなが納めた税金でまかなわれていると知りました。

税金のおかげで、私は白血病を治すことができ、今学校で友達と過ごすことができているので、私はこの制度にととても感謝しています。また、医療費だけでなく、救急車や私たちの受けている義務教育も税金でまかなわれていることを知りました。税金のおかげで、いろいろな公的サービスを安く、もしくは無料で受けることができることを知り、私は、税金とはみんなの思いやりややさしさの象徴だと感じました。

最近、私が税を納めることで、他にできることは何だろう、と考える機会がありました。それは、日本各地で地震や台風、大雨などの自然災害が発生しているニュースを見た時です。たくさんの警察や自衛隊のみなさんが活躍していました。父が、「この救助活動も税金があるから、たくさんの人を助けにいけるんだよ。」と教えてくれました。私は、私が住んでいない地域で災害が発生した時に、一人一人が、被災地に向けてたくさんのお金を送ったり、被災地へ行って支援や救助を行うのは難しいと思います。しかし、私や日本に住むみんなが納めたいろいろな税金が、救助隊の活動を支えられていることを知り、間接的に支援することができるのだ、と感じました。万が一の時の資金を、税金として出し合うことで、一人が多くのお金を払うよりも、多くのお金を集めることができ、大がかりな作業を行う支援に繋がります。それは、とても素敵な思いやりだと思いました。

最近、自然災害がたくさん起こる日本に住む私は、みんなが納めた税金から、多くの支援や恩恵を受けるかもしれません。もしかすると、私の身近な人が災害に巻き込まれて、支援を必要とするかもしれません。その時のために、私は、みんなの思いやりが形になった「税金」をきちんと納めていきたいと思います。